

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	城西国際大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経営情報学部	総合経営学科	夜・通信			20	20	13	
国際人文学部	国際文化学科	夜・通信			14	14	13	
	国際交流学科	夜・通信			13	13	13	
福祉総合学部	福祉総合学科	夜・通信			20	20	13	
	理学療法学科	夜・通信			27	27	13	
薬学部	医療薬学科	夜・通信			26	26	19	
メディア学部	メディア情報学科	夜・通信		2	30	32	13	
観光学部	観光学科	夜・通信			8 6	14	13	
看護学部	看護学科	夜・通信			100	100	13	
(備考) 観光学部は新課程8単位、旧課程6単位								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://jiu-unipa.jiu.ac.jp/uprx/ シラバス照会で「実務経験のある教員」で絞り込み
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

学校名	城西国際大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.josai.jp/about/director/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤 上原 明 理事長	大正製薬ホールディングス(株)代表取締役社長	2021.5.26 ～2025.3.31	理事長
非常勤 吉本 高志 理事	(一財)脳神経疾患研究所 最高顧問	2021.4.1 ～2025.3.31	大学経営全般に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 浅島 誠 理事	帝京大学先端総合研究機構 特任教授学術顧問	2019.4.1 ～2023.3.31	学術研究に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 羽生 佐和子 理事	帝京大学先端総合研究機構 特任教授	2021.4.1 ～2025.3.31	大学経営全般に関する指導、助言及び管理、監督
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	城西国際大学
設置者名	学校法人城西大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>													
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年 2～3 月に、開講科目担当教員に対し締め切り日を設定し、シラバス作成要領に従って、本学所定のフォームに web 入力で授業計画の作成をお願いしている。</p> <p>入力完了後、抜けはないか、フォームに沿って入力されているか教務委員を主体として授業計画(シラバス)チェックを行い、4 月初旬に公開している。</p>													
授業計画書の公表方法	https://jiu-unipa.jiu.ac.jp/uprx/												
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>													
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>全学共通の指針として、履修申請、試験、成績発表について学生便覧の「履修の手引きと手続き」に掲載し、これを厳格に運用している。授業計画(シラバス)に記載された成績評価基準に基づき、試験・レポート等による総合評価に基づき、以下の基準に従い、単位を認定している。</p> <p>・100 点を満点として、60 点以上をもって単位修得(合格)とする。</p> <p>その評価は次に従う</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評 価</th> <th>得点分布</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>100 点～90 点</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>89 点～80 点</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>79 点～70 点</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>69 点～60 点</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>59 点以下</td> </tr> </tbody> </table>		評 価	得点分布	S	100 点～90 点	A	89 点～80 点	B	79 点～70 点	C	69 点～60 点	F	59 点以下
評 価	得点分布												
S	100 点～90 点												
A	89 点～80 点												
B	79 点～70 点												
C	69 点～60 点												
F	59 点以下												

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価を厳格に行いより教育効果を高めること、学生の学習意欲を触発し学習目標を明確化すること、成績評価基準を学外の評価基準に標準化し国際化を図ることを目的としてG P A制度を取り入れている。</p> <p>城西国際大学の成績評価は、 (合格) (不合格) S: 100～90点 F: 59点以下 A: 89～80点 B: 79～70点 C: 69～60点</p> <p>S・A・B・Cの評価に対して、それぞれ4・3・2・1点のGrade Pointを与え、Grade Pointに各科目の単位数を掛け合わせ、その総計数を総履修単位数で割ることにより、平均点(Grade Point Average)を算出し、単位修得とは別の尺度で、当該学生の成績評価を行う。</p> <p>Grade Point Averageは成績通知表及び成績証明書に記載している。 [履修登録した各科目の(GP×単位数)の合計] ÷ [成績評価を受けた全科目の単位数合計]</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.jju.ac.jp/visitors/students/detail/id=11825
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 全ての学部において卒業に必要な単位数及びディプロマ・ポリシーを定めている。各学部において、卒業に係る学生の単位修得状況を基に作成された卒業判定資料を作成し、教授会で審議。その原案をもって、卒業判定会議で審議し、学長が決定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.jju.ac.jp/visitors/students/detail/id=8803

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

学校名	城西国際大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kessan_2020.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kessan_2020.pdf
財産目録	https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/zaisan_2020.pdf
事業報告書	https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/jigyou_2020.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kansa_2020.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.jiu.ac.jp/about/review/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.jiu.ac.jp/about/review/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経営情報学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663) (概要) 経営情報学部は、グローバル化や情報通信技術の発展に即応する能力を有し、かつ企業や行政等の組織、あるいは国際社会・地域社会が抱える諸課題の解決に主体的に向き合い、他者と協働しながら判断・行動できる「国際的に有為なマネジメント力のある人材」を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663) (概要) 経営情報学部は、以下に掲げる能力を有し、かつ所定の単位を修得した学生に、「学士(経営情報)」の学位を授与する。 1. 経営全般に関する幅広い知識と、一人ひとりの進路を踏まえた特定の専門分野についての深い知識・技能を身につけている。 2. 情報通信技術 (ICT) の活用を通じて「経営」領域で分析ができ、経営活動に資する能力を身につけている。 3. 高い状況把握力と課題発見力に拠って企業、行政、教育現場等の諸課題を認識し、それらを経営資源である「ヒト・モノ・カネ・情報」を活用して解決できる計画力と実行力を身につけている。 4. 「国際人」として必要な語学力と教養に裏付けられた発信力、傾聴力、想像力を培い、価値観の異なる異文化の人々とのコミュニケーション力を身につけている。 5. 倫理観、規律性、柔軟性、主体性を併せ持ち、他者への働きかけ力をもってチームで行動するためのリーダーシップを身につけている。 6. 自身の健全な心を維持できるストレスコントロール力を養い、未来社会へ逞しく挑戦できる社会人基礎力を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663) (概要) 紀尾井町キャンパス <グローバル経営情報コース> 経営情報学部総合経営学科グローバル経営情報コースでは、教育研究上の目的、及び学位授与方針に基づき、国際的に有為なマネジメント力のある人材を育成するため、以下に掲げる方針に則って、カリキュラム (教育課程) を編成する。 1. 学科共通科目群では、経済社会のグローバル化と情報化の発展に即応できる能力、及び多様な価値観を互いに認め合う等の人間形成の基盤となる能力を身につけるため、英語を中核とする語学系科目、経営学と情報リテラシーの基礎科目、及び一般教養科目を配置する。 2. キャリア形成科目群では、大学での学修に必要な能動的な学び、社会で求められる倫理観、社会人基礎力、及びキャリア形成に資する能力を身につけるため、ビジネスキャリア関連科目やインターンシップに関する科目を配置する。 3. 専門基礎科目群では、経営学関連科目を中核とする専門分野の基礎知識を身につけるため、マーケティング、経済学、会計学、情報科学等に関わる総論的または基礎的な科目を配置

する。

4. 専門科目群Ⅰでは、専門基礎科目群で培った知識を土台に、一人ひとりの学修目標や進路に関わる知識・技能を深め、経済社会のグローバル化に対応する専門性の高い経営学、マーケティング、経済学、会計学、情報科学、法律学等、幅広い分野の専門科目を配置する。

5. 専門科目群Ⅱでは、獲得した知識・技能・態度を統合し、主体的・協働的に諸課題に取り組む能力を高めるため、ゼミナールやプロジェクト研究等を配置する。

6. 学位授与方針、及び学生一人ひとりの進路に、より対応するため、グローバル経営情報コース（紀尾井町キャンパス）は、2年次より以下の4分野を設置する。

①グローバル・コミュニケーション分野

「国際人」として必要な言語能力、異文化理解を基礎として、様々なビジネス分野に必要なコミュニケーション力を鍛錬するためのカリキュラムを設置する。

②経営分野

現代の経営を理解するために必要な経営学、経済学、マーケティング、ロジスティクスを学ぶとともに、企業などの組織の経営を担う力を身につけるためのカリキュラムを設置する。

③会計分野

ビジネスの共通言語である会計知識を中心に、今日の経済社会の様々な事象を理解するために必要とされるファイナンスや企業関連の諸法律も擁したカリキュラムを設置する。

④情報マネジメント分野

Society5.0時代を生きる上で必須となるICT関連技術・知識を基礎から学び、企業などの組織の情報戦略を担う力を身につけるためのカリキュラムを設置する。

東金キャンパス

<スポーツ・公共マネジメントコース>

経営情報学部総合経営学科スポーツ・公共マネジメントコースでは、教育研究上の目的、及び学位授与方針に基づき、国際的な視野に立ちながら「地域の多様性」を尊重し、多様な学問分野を融合させて実社会の課題を解決できるマネジメント力のある人材を育成するために、以下の掲げる方針に則って、カリキュラム(教育課程)を編成する。

1. 学科共通科目群では、経済社会のグローバル化と情報化の発展に即応できる能力、及び地域の多様性や他者の多様な価値観を互いに認め合う等の人間力の基盤となる能力を身につけるため、英語を中核とする語学系科目、情報リテラシーの基礎科目、一般教養科目及びスポーツ実技科目を配置する。

2. キャリア形成科目群では、大学での学修に必要な主体的な学び、社会で求められる倫理観、課題を発見する力や課題を解決し解決する過程を考えることができる社会人基礎力、及びキャリア形成に資する能力を身につけるため、ビジネスキャリア関連科目やインターンシップに関する科目を配置する。

3. 専門基礎科目群では、経営学関連科目を中核とする専門分野の基礎知識を身につけるため、経営学、マーケティング、経済学、会計学、情報科学、スポーツマネジメント、スポーツ・健康科学及び環境学等に関わる総論的または基礎的な科目を配置する。

4. 専門科目群Ⅰでは、専門基礎科目群で培った知識を土台に、一人ひとりの学修目標や進路に関わる知識・技能を深め、経済社会のグローバル化に対応する専門性の高い経営学、マーケティング、経済学、会計学、情報科学、法律学、スポーツマネジメント、スポーツ・健康科

学及び環境学等,幅広い分野の専門科目を配置する。

5. 専門科目群Ⅱでは,獲得した知識・技能・態度を統合し,多様な人々とともに目標に向けて協力する力や主体的・協働的に諸課題に取り組む能力を高めるため,ゼミナールやプロジェクト研究等を配置する。

6. 専門科目群Ⅲでは,専門的知識に裏打ちされた授業力と指導力,マネジメント力を兼ね備えた教員(保健体育科,社会科及び公民科)を育成するために,教職に関する科目を配置する。

7. 学位授与方針に対応するため,2年次より以下の3つの分野を設置する。

① グローバルビジネス分野

ビジネスのグローバル化に対応するために経営・マーケティング・会計・情報科学分野の基礎を学び,国内外で活躍するために必要な専門知識を総合的に身に着けるカリキュラムを設置する。

② スポーツマネジメント分野

スポーツ・健康科学やトレーニング理論の基礎となる科目からスポーツの実施や指導,健康の維持・増進,生涯スポーツ社会の実現に関する知識や方法を正しく理解するとともに,それらを企業や地域,多様な人々の生活に応用し,マネジメントできる人材を育成するためのカリキュラムを設置する。

③ 地域公共マネジメント分野

国や地域の課題を経営的な視点で捉え,情報・法律・経済・経営・環境などの多様な学問分野の学びから獲得した知識・技能・態度を統合し,雇用問題,福祉,地方自治,環境問題などの多様な課題の解決のための知識や判断方法を身につけるとともに,それらに積極的に多様な人々と協働してよりよい公共サービスを実現できる人材を育成するためのカリキュラムを設置する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663>)

(概要)

経営情報学部では,本学部の教育方針に共感し,以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 経営学及び情報科学分野等に関心を有し,その学修を通じて,企業,行政,スポーツ・健康,情報,教育,環境分野等で将来活躍するという目的意識を持っている人
2. 国際社会・地域社会・産業界等で通用する思考力,判断力及び表現力を身につけるため,主体的に取り組むことを目指す人
3. 学生相互あるいは教員と共に協働しながら,学び合うことを目指す人
4. 本学部での学びを通じて,積極的に異文化との交流を図ろうとする意欲のある人
5. スポーツや文化活動並びに,社会活動に積極的に取り組むことを目指す人

学部等名 国際人文学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665)</p>
<p>(概要)</p> <p>国際人文学部は、語学力と国際的な教養、社会人に必要な知識とスキルを十分に身につけ、国際社会で活躍できる人材を育成する。</p> <p>国際文化学科 国際文化学科は、国際的な視野をもって語学力と異文化理解力に優れ、柔軟な発想と行動力を備えた人材を育成する。</p> <p>国際交流学科 国際交流学科は、実践的な語学力と国際交流のための知識とコミュニケーション能力を身につけた人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665)</p>
<p>(概要)</p> <p>国際文化学科 国際人文学部国際文化学科は、以下に掲げる能力を有し、かつ所定の単位を修得した学生に、学士（国際文化）の学位を授与する。</p> <p>1. 知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解している。 ・世界の中の日本の姿を認識し、理解している。 ・自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について専門的な知識を有し、適切に理解している。 <p>2. 汎用的技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つ以上の外国語について、日常生活に必要な程度の運用能力を持っている。 ・日本語を正確に理解し、論理的な文章を書くと同時に、自らの見解をわかりやすく伝達するための方法を知り、実践できる。 ・必要な情報を適切な方法で収集し、クリティカルな態度をもって分析、活用することができる。 <p>3. 態度・志向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化社会に属する人々とコミュニケーションをはかり、相互理解に努めようとしている。 ・柔軟な思考力と判断力を持って、多様な価値観や思考様式を持つ人々と協調・協働して行動しようとしている。 <p>4. 総合的な学習経験と創造的思考力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル社会を多面的に捉え、そこから自らの見解を形成することができる。 ・習得した教養や技能を生かして、グローバル社会における課題を発見し、解決に努めようとしている。 <p>国際交流学科 国際人文学部国際交流学科は、以下に掲げる能力を有し、かつ所定の単位を修得した学生に、学士（国際交流）の学位を授与する。</p> <p>1. 知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語と選択した第二外国語について、その言語と文化、社会を理解している。

- ・国際的な視野から、日本語と、日本の文化と社会を理解している。
- ・国際交流を積極的に進め、国際的な場で協働をおこなうための広い視野と教養を学んでいる。

2. 汎用的技能

- ・英語と選択した第二外国語を読み、書き、聞き、話すことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。
- ・日本語を読み、書き、聞き、話す能力を十分に持ち、国内及び国際的な場で日本語によって積極的なコミュニケーションをおこなうことができる。
- ・国際的な視野を持ち、国際交流を实践できる社会人として必要な基礎的な知識やスキルを身につけている。

3. 態度・志向性

- ・日本語と外国語のいずれによっても、自己を適切に表現し、相手と積極的にコミュニケーションを進めることができる。
- ・コミュニケーション能力と国際交流に関する知識を備え、かつ社会人として必要な倫理と協調性、リーダーシップをもって行動することができる。
- ・異なる言語・文化・社会に寛容であり、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。

4. 総合的な学習経験と創造的思考力

- ・コミュニケーション能力と言語・文化・社会に関する広範な教養と専門知識、国際交流の知識とスキルを活用し、課題を発見し、解決をはかる能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665>)

(概要)

国際文化学科

国際人文学部国際文化学科では、教育研究上の目的に基づき、グローバル人材を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成する。

- ・グローバル社会における教養としての言語、専門分野の学修に必要な言語を学べるよう、学科共通科目群Ⅰ（語学）をおく。また、優れた英語力を有する学生を対象として、英語力をさらに高めるための特別な科目をおく。
- ・情報化社会で必要とされる知識や技能を習得できるよう、学科共通科目群Ⅱ（情報）をおく。
- ・グローバル化する文化や社会、コミュニケーションのあり方を多様な切り口から学び、国際化社会に生きる人間にとっての教養を身につけ、人文学を学ぶことの意義を明確にできるよう、学科共通科目群Ⅲ（教養）をおく。
- ・学生生活を充実させ、キャリア形成や生涯教育に資する主体的・自律的な学びを実現するため、初年次教育・ポートフォリオなどに関するキャリア形成科目群をおく。
- ・言語、文学、美術、歴史、社会、ジェンダー、比較文化など、専門分野について学ぶための基礎を身につけられるよう、専門基礎科目群をおく。
- ・日本、アジア、アメリカ、ヨーロッパなど、世界の文化に関する専門知識を獲得し、活用することができるよう、専門科目群Ⅰ（国際文化）をおく。
- ・韓国および韓国語が使用される地域の言語・文化・社会についてより深く探究できるよう、専門科目群Ⅱ（韓国にかかわる言語・文化・社会）をおく。
- ・専門の学びの集大成をはかることができるよう、専門科目群Ⅲ（ゼミ研修・実践）をおく。
- ・専門の学びをより広めたり、卒業後の活動や仕事に結びつけたりしてキャリア形成ができるよう、専門科目群Ⅳ（言語・文化・社会関連）をおく。

- ・専門の学びに係る教育職員免許状や学芸員資格などの取得に必要な学びができるよう、専門科目群Ⅴ（教職・学芸員関連）をおく。
- ・比較の観点や学際的な視点を養い、文化をより深く理解できるよう、専門分野以外の科目を履修することを奨励し、自主選択科目枠を設ける。
- ・学修アセスメント・プランを提示し、ディプロマ・ポリシーが示す能力や学生の成長に伴う達成度を測定、評価する。

国際交流学科

国際人文学部国際交流学科では、教育研究上の目的に基づき、国内外の国際的な場で活躍する人材の養成のため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成する。

- ・実践的な英語コミュニケーション能力を4年間通して総合的に習得するために、学科共通科目群Ⅰ（語学）を配置する。
- ・留学生・指定された帰国生徒等を対象とし、日本語コミュニケーション能力の向上をはかるために、学科共通科目群Ⅰ（語学）を配置する。優れた英語力を有する学生を対象として、英語力をさらに高めるための特別な科目を置く。
- ・情報化社会に必要な、コンピュータに関する知識とスキルを習得するために、学科共通科目群Ⅱ（情報）を置く。
- ・グローバル化する文化や社会、コミュニケーションのあり方を多様な切り口から学び、国際社会に生きる人間としての教養を身につけ、人文学を学ぶことの意義を明確にするために、学科共通科目群Ⅲ（教養）を置く。
- ・大学での学習に必要なスキルと社会人となるための基礎力を身につけ、学生生活を充実させ、キャリア形成や生涯教育に資する主体的・自律的な学びを実現するため、初年次教育・ポートフォリオなどに関するキャリア形成科目群を設置する。
- ・第二外国語と世界の文化について学ぶために専門基礎科目Ⅰ（世界の文化と言語）を置く。また、専門基礎科目群Ⅱ（国際教養関連）を配置し、国際社会・国際交流・国際関係・国際協力・国際コミュニケーションなどについて学ぶ専門教育の基礎とする。
- ・国際社会や国際関係について学び、異文化理解と国際交流、国際協力に必要な知識と実践力を身につけるために専門科目群Ⅰ（国際関係・国際交流）を置く。
- ・言語や異文化などを切り口に国際コミュニケーションについて学び、英語・日本語とその言語教育に関わる専門的な知識・スキルとコミュニケーション能力を身につけるために、専門科目群Ⅱ（国際コミュニケーション）を置く。
- ・より高度な英語力を実践的に身につけるために、専門科目群Ⅲ（英語プロジェクト）を置く。
- ・演習および研修・インターンシップを通して、専門的な知識を学び、その実践と発展を図るために専門科目群Ⅳ（ゼミ研修・実践）を置く。
- ・教職課程で学ぶ学生のために、専門科目群Ⅴ（教職関連）を配置する。
- ・多様な学びを実現するために、学科として、教職・学芸員課程、および日本語教員副専攻を奨励する。また、学生が自らの学びを深めるために、自主選択科目枠を設ける。
- ・学生が学修成果を自覚し、ディプロマ・ポリシーに示す能力の達成度を意識・評価し、自らの成長につなげるために学修アセスメントに関連するプログラムを実施する。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665>）

（概要）

国際文化学科

国際文化学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 自身の思考や意見をわかりやすくまとめ、伝えることを目指す人
2. 必要な情報を適切な方法で収集・選別し、活用することを目指す人
3. 日本及び世界の文化、社会、政治、経済に強い関心がある人

4. 多様な文化背景を持つ人々との関わりから日本及び世界の文化・生活・社会などを学ぶ意欲がある人
5. 様々な言語に興味があり、ICT（情報通信技術）で世界の人々とつながりたいと思っている人
6. 学習意欲を持ち、論理的な思考力、問題解決能力を身につけることに熱意がある人。

国際交流学科

国際交流学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 自身の思考や意見をわかりやすくまとめ、伝えることを目指す人
2. 必要な情報を適切な方法で収集・選別し、活用することを目指す人
3. 英語で基礎的なコミュニケーションを行うことを目指す人
4. 英語に興味を持ち、英語力を高めたいという意欲を持っている人
5. 積極的に周囲の人とコミュニケーションを取り、その能力を高めたい人
6. 留学・研修などの海外協定校とのプログラムに積極的に参加したいと考えている人
7. 将来、国内・国外を問わず、国際的な場で活躍を目指す人

学部等名 福祉総合学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667)</p>
<p>(概要)</p> <p>福祉総合学部 福祉総合学部は、国際的・地域的視点から福祉・医療の問題に関心を持ち、自己の専門性の向上に向けて探求できる人材を育成する。</p> <p>福祉総合学科 福祉総合学科は、持続可能な福祉社会の実現を目指して、社会環境の変化に対応し、様々な問題の解決に貢献できる福祉人材を育成する。</p> <p>理学療法学科 理学療法学科は、国際的視野を持ちながら、科学的知見に基づく新しい時代の理学療法学を目指し、専門職の学問的内容に見識を有する人材を育成する</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667)</p>
<p>(概要)</p> <p>福祉総合学部は、以下に掲げる能力を有し、かつ所定の単位を修得した学生に、福祉総合学科は学士（福祉総合）、理学療法学科は学士（理学療法学）の学位を授与する。</p> <p>福祉総合学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての人々の福祉の増進を目指し、高い倫理性と人権意識を持ち、多様な価値観を尊重できる。 ・福祉・介護・保育・行政の現状を理解し、課題を自ら探求することができる。 ・専門的な知識や技能を論理的・批判的思考力及び判断力のもと、主体的に活用することができる。 ・国際的・地域的な視野に立ち、国境や文化の境を越えて共感することができる。 ・持続可能な社会、孤立や排除のない社会づくりに連携・協働しながら貢献できる。 <p>理学療法学科</p> <p>1. 知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの一翼を担う専門家としての、より質の高い理学療法を提供するため、基礎医学、臨床医学、理学療法評価学、理学療法治療学、保健、医療、福祉、地域支援に関する知識を有する。 ・組織運営に関するマネジメント、理学療法倫理、理学療法教育に関する知識を有する。 ・少子高齢化・情報化・グローバル化など時代特有の問題や急速に変化する社会情勢に関する知識を有する。 ・自らの持つ倫理観を涵養し、倫理的姿勢と行動をもってひとりの尊厳を守り、多職種間多職種間で連携し協働した活動ができるための知識を有する。 <p>2. 汎用的技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進的理学療法を提供するため、理学療法評価技能、理学療法治療技能、李域理学療法、予防活動に貢献できる技能を有する。 ・組織運営に関するマネジメント、理学療法倫理、理学療法教育について理解し、それらを実践できる能力を有する。 ・多職種間で連携し協働できるためのコミュニケーション能力、協調的で倫理的な思考能力を有する。

3. 態度・志向性

- ・自ら課題を発見し、解決を図ることができる。
- ・自ら目標を立て行動することができる。
- ・変化や未知の問題への対応力を養う。
- ・倫理観をもち、人の尊厳について理解し行動できる。
- ・多職種間で連携するための態度を身につける。

4. 総合的な学習経験と創造的思考

- ・日本および世界における医療・保険・福祉に関する問題や、急速に変化する社会情勢などに興味を持ち理解しようとする態度と思考を有する。
- ・理学療法士の責務である臨床・教育・研究に関して理解し、医療施設や介護施設にとどまらず社会全体から希求される事柄に対応できる能力と価値観を有する。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667>)

(概要)

福祉総合学部では、教育研究上の目的に基づき、福祉・医療・保健の専門性を有する人材を養成するため、学生一人ひとりの資格取得やキャリア目標に応じたカリキュラム（教育課程）を編成する。

福祉総合学科

- ・地域社会・国際社会・企業社会に通用する資質と社会人基礎力（学士基盤力）を身につけるため、語学系科目、情報系科目等などの「学科共通科目群Ⅰ（語学）・Ⅱ（情報）」を置く。
- ・国内・海外の地域を基盤とした福祉実践現場でのボランティア、実習や研修などを通じて、キャリア形成や生涯教育に資する主体的・自律的な学びを実践し、初年次教育・ポートフォリオなどに関わる科目と共により深い福祉への理解と実践力を修得するために、多職種連携教育（IPE）に関する科目を「キャリア形成科目群」として置く。
- ・専門分野の共通基盤（学士専門力）を体系的に身につけ、より広い視野で福祉を考えるため、学科の学びの基礎となる「専門基礎科目群」を置く。
- ・実践力・総合力を身につけるために、専門分野におけるキャリア形成（学士専門力）を特徴づける「専門科目群」を置く。各コースは「専門科目群Ⅰ（福祉関連）」として以下の科目を置く。

社会福祉コース

- ・対象者理解・専門的な知識・技術を習得するための科目を置く。
- ・社会環境・多様化するニーズを理解し、人と環境を包括的に捉え、孤立や排除のない地域づくりに貢献するための科目を置く。
- ・課題を自ら探求し、演習・実習に関する科目を置く。

介護福祉コース

- ・多様化する介護ニーズに対応できる専門的知識・技術を身につけるため介護を必要とする人々の理解の関わる科目を置く。
- ・支援を必要とする人々の人権を尊重した介護の実践ができるよう人権の理解とその尊重の方法に関わる科目を置く。
- ・チームアプローチの実践ができるよう保健・医療の知識と他専門職の役割、及び連携の方法に関わる科目を置く。

子ども福祉コース

- ・子どもの育ちを支える専門的知識・技術を習得するための科目を置く。
- ・遊びを通じた発達の援助が実践できるための科目を置く。

- ・子どもの教育や保育の課題を国際的・地域的視点から考えることができる科目を置く。
- ・子どもの教育・保育だけでなく女性・家族が抱える福祉的課題について問題意識を持ち、ソーシャルワークを主体的に活用できるための科目を置く。

福祉行政コース

- ・社会を構成する人間の理解をはかるための科目を置く。
- ・現代社会が直面する様々な社会問題を理香宇するための科目を置く。
- ・多様性に寛容な社会、SDG s を達成できる社会、皆で力を合わせていける社会を築いていく実践的な能力を身につけるための科目を置く。
- ・社会における多様な主体との協働に対応するために科目を置く。
- ・学修アセスメント・プランを提示し、ディプロマ・ポリシーが示す能力や学生の成長に伴う達成度を測定、評価を行う。

理学療法学科

- ・理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に準拠した教育内容と科目を必修科目として集約し、基礎医学科目から理学療法学専門科目へと段階的に科目を配置している。
- ・「学科共通科目群Ⅰ」は、国際的要素を身につける科目群である。休息に進むグローバル化に対応し、国内外の国際的な場で活躍できる人材を養成するための科目を配置している。
- ・「学科共通科目群Ⅱ」は、科学的思考の基盤を身につける科目群である。基礎医学や臨床医学、理学療法専門科目を修得するために基盤となる科目であり、知的活動、職業生活、および、および社会生活において必要とされる知識・技術習得のためのき基礎的科目を配置している。
- ・「キャリア形成科目群」は、社会で役立つ人材を育成するため、職業能力について考察し、実践すべき内容を具体化する科目群である。自らにとって意欲をもってできる仕事について考え、職業意識を高めて社会人として前向きに問題を解決実行できる能力を形成する科目を配置している。
- ・「専門科目群」は、「専門基礎科目群Ⅰ」”人体の構造と機能及びしん心身の発達”、「専門基礎科目群Ⅱ」”疾病と障害の成りたちお及び回復過程の促進”、「専門基礎科目群Ⅲ」”保険医療福祉とリハビリテーションの理念”、そして、各学部との連携教育や学科共通科目群で学んだ基礎知識を発展させるための科目を配置している。
- ・「専門科目群」は、「専門科目群Ⅰ」「専門科目群Ⅱ」「専門科目群Ⅲ」に区分している。
- ・「専門科目群Ⅰ」では、”基礎理学療法学”の修得を目的とした科目を配置している。
- ・「専門科目群Ⅱ」では、”理学療法管理学”、”理学療法評価学”、”理学療法治療学”、”地域理学療法学”を学ぶことを目的とした科目を配置している。
- ・「専門科目群Ⅲ」では、”臨床実習”を通じてその実践力を養い、実際の場面で活用できることを目的とした科目を配置している。
- ・専門職間の連携と統合及び協働した問題解決能力習得のため、問題基盤型学習（PBL テュートリアル）やポートフォリオを用いた自己評価を重視した演習科目を配置している。
- ・臨床実践力を促進することを目的に客観的臨床能力試験（OSCE）を含む理学療法セミナーを配置している。統合的な理学療法の知識・技能を身に付けるための理学療法総合演習を配置している。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667>）

(概要)

福祉総合学科

福祉総合学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 福祉・保育・行政の専門職として、地域に貢献し、人々の役に立ちたいと思っている人
2. 人々の気持ちに寄り添い、地域の様々な社会的課題を認識し、その具体的解決策の提案・解決を図ることを身につけたい人
3. 国際的な視点から、多様な価値観を理解し、連携・協働して、共生社会・持続可能な社会の実現に貢献したいと考えている人

理学療法学科

理学療法学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 理学療法士に必要な知識と理解、汎用的技能、態度と指向性、創造的思考を主体性を持って身につけたい人
2. 学んだ知識・技能・経験を他者に表現することを目指す人
3. 自ら目標を立て行動する努力が継続できる人
4. 生命の尊さを理解し、他者への思いやりを持てる人
5. 多様な文化・価値観に理解を示し、好奇心にあふれチャレンジ精神旺盛な人
6. 多職種間で連携し協働した活動に興味を持ち、他者の意見を傾聴できる人

学部等名	メディア学部
教育研究上の目的	(公表方法： https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669)
(概要)	メディア学部は、「表現力」「コミュニケーション力」「コラボレーション力」を高め、複合的にビジネスコミュニケーションを展開できる創造的な人材を育成する。
卒業の認定に関する方針	(公表方法： https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669)
(概要)	<p>メディア学部は、以下に掲げる能力を有し、かつ所定の単位を修得した上で、ゼミ研究における研究成果を認定された学生に、「学士（メディア情報）」の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディア産業の現状と変化のあり方を理解し、適切かつ戦略的に自身のキャリアをデザインできる。 ・グローバル化と多様化が一層進展する社会の中で、国内外でグローバルな仕事に従事し、そこで活躍することが出来る視座を有している。 ・集団で作品を生み出す作業に当たるための知識と経験をもち、協調性をもって実践的に活用できる。 ・習得した技術や抽象的概念を言葉やカタチに具現化する能力を持ち、そこにおいて文化的または経済的価値を付加できる。 ・正答の無い課題を解決する能力と世の中に未だ存在していないものを新たに創造する能力を備え、クリエイティブな活動に自発的に取り組む向上心とチャレンジ精神を有している。
教育課程の編成及び実施に関する方針	(公表方法： https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669)
(概要)	<p>メディア学部では、メディアとテクノロジーが共進化し、グローバル化と多様性が急速に進展する時代において、エンタテインメント産業が求める、クリエイティブな人材を育成するため、以下のようなカリキュラムを編成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ産業でグローバルに活躍できる人材育成のために、国際コミュニケーション力を高め、実践的な語学力を身につけるための科目を学科共通科目群Ⅰ（語学）に配置する。 ・情報化がより一層進展する状況において、メディア技術を適切に用いることによって効果的な情報発信を出来る能力を養うため、コンピュータの基本操作からビジネス文章、映像・サウンド、SNSの活用までを学ぶことのできる科目を学科共通科目群Ⅱ（情報）に配置する。 ・現代社会における教養として、社会や経済の基本を学ぶことができる科目を学科共通科目群Ⅲ（教養）に配置する。 ・コンテンツ産業へのスムーズな就職を目指し、学生が自己を啓発し大学卒業時及びその後のキャリアアップに関する視座を獲得できるようにするため、メディア業界と自身の競争力を考える科目、自身の競争力を養うための科目をキャリア形成科目群に配置する。 ・自身の選択する特定の専門分野の基礎としてのみならず、関連する他の専門領域についても専門的に学ぶ機会を提供すべく、自身の専門科目に限定せずに履修することのできる科目を専門基礎科目群Ⅰ（メディア基礎）に配置する。

- ・環境変化の激しい時代において、そうした変化に耐えうる知識と、自ら答えを求める力としての教養を重視し、メディア・テクノロジー、文化、伝統、グローバリズムに関して幅広い知識を習得するための科目を専門基礎科目群Ⅱ（メディア教養）に配置する。
- ・専門科目群Ⅰ～Ⅴでは、東金キャンパスに設置するニューメディアコースと、紀尾井町キャンパスに設置する映像芸術コースごとに、専門分野を体系的に学ぶカリキュラムを編成する。

ニューメディアコースでは、「メディアアーツ」「メディアテクノロジー」「メディアデザイン」の3分野を設置し、映像、サウンド、メディアサイエンス、プログラミング、アート、デザインなどの知識と技術を学び、作品作りを通してそれぞれの専門性を身につける。また同時にこの3分野を横断的に学ぶことで、「柔軟性（フレキシビリティ）」「機動性（モビリティ）」「創造性（クリエイティビティ）」「多様性（ダイバーシティ）」をもって、新たな表現を生み出す力を持った人材を育成できる科目を配置する。

映像芸術コースでは、映像演出、映像技術、映像美術、アニメーション・CG、サウンド・音楽、ステージ、芸能、エンタテインメント・ビジネスの8つの専門分野において実習とビジネスを生み出す知識取得の科目を配置する。実習の科目では、それぞれの分野での技術の学習と同時に、その技術の裏付けとなる論理的思考を取得できるカリキュラムを構成する。また、変化するビジネス環境においてクリエイティブな場面で活躍するクリエイティブ・リーダーを育成することを目的とした、各分野のビジネスの現状と今後を学ぶことができる科目を配置する。

- ・専門科目群Ⅵ（ゼミ研究・実践）では、演習および研修・インターンシップを通して、専門的な知識を学び、その実践と発展を図るための専門科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669>）

（概要）

メディア学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 自身の思考を言葉、文字、身体表現で発信するためのコミュニケーション力を身につけ、社会と積極的に交流する意思を持っている人
2. 芸能・映像・ステージ・サウンド・エンタテインメントビジネス・ニューメディアのいずれかの分野において、表現力やスキルを身につけたい人企画力、問題解決力、情報発信力などを身につけるための学習意欲がある人。
3. 社会が求める教養と専門的な知識・技能の習得に主体的に取り組み、将来エンタテインメントやコンテンツビジネスなど、クリエイティブ産業で活躍する意欲がある人
4. 豊かな人間性を身につけ、専門的な知識・技能で地域社会・国際社会・産業界等に貢献することに価値を見出し、他者と積極的にコミュニケーションを取りながら活動したい人
5. 企画力、問題解決力、情報発信力などを積極的に身につける意志を持ち、身につけた知性を適切に表現する意欲がある人

学部等名 薬学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664)</p>
<p>(概要) 薬学部は、超高齢化と国際化が進む日本社会において、質が高く安心・安全な医療サービスを提供し、健康的で豊かな生活を支援できる薬剤師を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664)</p>
<p>(概要) 薬学部医療薬学科では、下記のような能力を有し、かつ所定の単位を修得した学生に、学士（薬学）の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師としての職能を発揮するために必要な知識・技能・態度を総合的に修得し、薬の専門知識を有する医療従事者として相応しい責任感と倫理観をもって、人々の生活を支えることができる。 ・地域で生活する人々が抱える健康に関わる問題に対して、合理的な判断に基づく解決策を提案し、他者と協力してその実践に努めることができる。 ・地域の保健・医療・福祉に貢献するために、生涯にわたり継続的に学び、成長する意欲と態度を有する。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664)</p>
<p>(概要)</p> <p>① 薬学部医療薬学科では、学部を目指す人材育成に基づき、薬剤師としての専門性を有する医療人を養成するため、以下のような方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療人に相応しい責任感や倫理観に基づく行動習慣を身につけ、豊かな人間性を育むために、入学直後より6年間を通じ、臨床マインドを醸成する科目群（ヒューマンイズム・社会と薬学・薬学臨床）を設置し、生涯学習につながる自己省察力を醸成するために、6年間を通じたポートフォリオ学習の実践や、キャリアファイルを活用することで、自らの学習意欲や成果を振り返る機会を提供する。 ・医療人として、地域社会や国際社会、企業社会等で求められる基礎的な力と教養を身につけるために、国際教育や教養科目に関わる科目群を設置（教養、情報、語学）する。 ・薬剤師資格の基盤となる専門性を身につけるために、薬学専門科目群（基礎薬学・衛生薬学・医療薬学・薬学臨床）を設置し、科目間や学年間のつながりを意識した学習を効果的にするため、全学年で総合演習並びに統合学習を設置する。 ・身につけた知識・技能・態度を統合し、専門職に求められる判断力や実践力を身につけるために、高学年次に実践的科目群（実務実習・卒業研究・特論演習）を設置する。 ・薬学的知識と技量を有する専門職として、視野を広げ、異なる価値観を受容し、他者を理解し協働する能力を身につけるため、専門職連携教育や国際教育に関わる科目群を設置する。 <p>② ディプロマ・ポリシーが示す能力や学生の成長に伴う達成度を以下のように測定、評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門知識の修得は、薬学専門科目群や総合演習、統合演習を通じて行う。 ・医療人としての意欲や態度は、臨床マインドを醸成する科目群や科目群とは独立した自記式評価票を用いて行う。

- ・専門職に求められる判断力や実践力は、実践的科目群で評価する。
- ・学年進行に伴う学生一人ひとりの総合的評価は、各評価指標に加えポートフォリオ学習の成果やキャリアファイルを用いて行う。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664>)

(概要)

薬学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 修学に必要な基礎的な知識があり、主体的に学ぶ意欲がある人
2. 医療人として必要な基本姿勢・態度を身につける意欲がある人
3. 薬学を通して、地域社会・国際社会での活動に参加を目指す人
4. 多様な文化・価値観の中で、他者の意見を聞き、自分の考えを表現し、積極的なコミュニケーション力を身につけたい人

学部等名 観光学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666)</p>
<p>(概要) 観光学部は、社会が求める実践力と新たな価値を創造し実行するデザイン力を備え、これからの観光ビジネスや地域社会に貢献できる人材を育成する</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666)</p>
<p>(概要) 観光学部は、必要な単位を修得し、必要な修了年限を満たした上で、次の能力を有していると判断した場合に、学士（観光学）の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光及び社会に関する基礎的な知識を有し、論理的かつ批判的思考力・判断力のもと高い倫理観をもってこれら専門的知識・技能を活かせること。 ・多様な価値観を認める寛容さと他者を理解する共感力を備え、観光及び社会における問題に取り組み、持続可能な社会に向けて連携・協働できること。 ・現場での活動から得た「やり抜く力」を活かして、観光及び社会における問題に主体的に取り組み、新しい観光の価値を創造する力を有すること。 ・生涯にわたって学習し自己研鑽を重ねることで観光及び社会が求める知識と技能を持続的に高め、自己実現に向けて活動できること。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666)</p>
<p>(概要) 観光学部は、学位授与の方針に掲げた学修成果を得る教育課程として、教養科目、教育科目、キャリア形成などの基礎的な科目及び「観光ビジネス」、「観光メディア」、「観光まちづくり」の専門的な科目を体系的に編成し、講義・演習・研修等を適切に組み合わせた授業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会・地域社会・産業界に通用する資質と社会人基礎力（学士基盤力）を身につけるため、「語学」、「異文化理解」、「情報」、「教養」に関わる科目を配置した学科共通科目群を設置する。 ・学生生活及び卒業後の社会生活を充実させ、持続的なキャリア形成や生涯学習に資する意識形成及び主体的・自律的な学修方法を修得するため、「キャリア形成」、「国内外の研修・インターンシップ」、「観光の実務」に関わる科目を配置したキャリア形成科目群を設置する。 ・裾野が広く変化し続ける観光分野の共通基盤（学士専門力）を体系的に身につけるため、「観光ホスピタリティ概論」、「ニューツーリズム」等の新しい観光学の導入科目及び「観光ビジネス」、「観光メディア」、「観光まちづくり」に関わる基礎知識を修得する科目を配置した専門基礎科目群を設置する。 ・旅行・宿泊・交通・飲食・イベント等の観光ビジネス分野で活躍できる人材、観光に関わる多角的な広報活動・情報発信等の観光メディアに精通した人材、地域活性化を牽引する観光まちづくり人材を育成するために、観光の専門分野（学士専門力）からなる専門科目群Ⅰ（観光学）を設置する。 ・「現場」を通して課題を発見し、新たな価値を創り出す能力を育成するために、フィールドワークの基礎を学ぶ科目、課題発見・課題解決を実践する「観光プロジェクト」及び「地域連携プロジェクト」等の地域連携科目、理論と実践を深化統合させるための「観光ゼミナール」及び「卒業論文」を配置した専門科目群Ⅱ（ゼミ研究・実践）を設置す

る。

- ・ルーブリック評価や学部独自の評価指標を組み合わせ、学位授与の方針に示す能力や学生としての成長に伴う達成度を測定、評価する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666>)

(概要)

観光学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 社会が求める教養と観光分野の専門的知識・技能の修得に努めたい人
2. 言語力と自己表現力を身につけ、国際社会・地域社会・産業界等で貢献したい人
3. 社会とりわけ観光分野の問題を認識し、解決したい人
4. 新しい観光の価値を創り出したい人
5. 社会との連携・協働を通じて多様な価値観を認識し、他者と積極的に関わることで自己実現したい人

学部等名 看護学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670)</p>
<p>(概要) 看護学部は、学際的知見に裏付けられた新しい時代の看護を目指し、人の尊厳を守り、人間性豊かで、異文化理解や薬学、福祉に明るい、探究心と倫理性を兼ね備えた看護職者を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670)</p>
<p>(概要) 看護学部は、以下に掲げる能力を有し、かつ所定の単位を修得した学生に、学士（看護学）の学位を授与する。</p> <p>1. 知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルのすべての段階にある人の健康時から健康障害のあらゆる場面における看護を実践するための基礎理論が理解できる。 ・人間の尊厳について深い洞察力をもち、人間の権利、患者の権利を尊重して、その人の立場に立ってケアを提供することを理解できる。 ・看護に活用できる薬学と福祉に関する知識を理解できる。 ・グローバルな視点から民族的多様性を理解した上で健康や看護の役割を理解できる。 ・保健医療福祉におけるチーム医療の役割と協働について理解できる。 ・よりよい看護の実現に向けて専門職として研鑽できる。 <p>2. 汎用的技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルのすべての段階にある人の健康時から健康障害のあらゆる場面で提供できる看護技術を修得している。 ・教養教育の幅広い視野と複眼的な思考力・判断力を活用して、人間の生命、健康、生活についての深い洞察力と専門職としての倫理に基づいて行動することができる。 ・人々の多様な価値観・信条や生活背景をもつ人を尊重し、人々の尊厳と権利を擁護する行動をとることができる。 ・医療チームを機能させるためのチーム形成を意識し、リーダーシップやメンバーシップをとることができる。 ・薬物治療における副作用の発現を早期に発見し、健康の回復促進を図ることができる。 ・国際的な素養を身につけている。 ・自己の看護実践を振り返り、専門職としての価値観や専門性を発揮することができる。 <p>3. 態度・志向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の対象となる人々の尊厳と権利を擁護する態度を有している。 ・教養教育と専門教育、特に薬学および福祉の学際的見識を通して、看護専門職としての価値と専門性を発展させる姿勢を有している。 ・地域医療に関心をもち、課題解決に向けて考え、地域医療の充実に貢献しようとする。 ・看護専門職として主体的かつ持続的に生涯にわたり研鑽を積んでいく態度を有している。 <p>4. 総合的な学習経験と創造的思考力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の専門性を発揮し、ケアの質の向上に向けて探究できる。 ・自らの専門職者としての価値観を形成することができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670)</p>

<p>(概要)</p> <p>看護学部では、教育研究上の目的及び学部の目指す人材育成に基づき、国際的視野をもち、基礎教養と薬学及び福祉の見識を兼ね備えた実践能力のある看護職者を育成するために、以下に掲げる方針に則ってカリキュラムを編成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化する社会のニーズに応えるための能力を初年次から身につけていくために、学科共通科目群Ⅰ（グローバルリテラシー）をおく。 ・臨床現場のIT化に対応できる基礎力を養うために学科共通科目群Ⅱ（メディアリテラシー）をおく。 ・看護を学ぶための基礎力を初年次より培うために、ケアの対象である“人”への理解を深め、自然科学の持つ法則性、人文科学の持つ多様性を学ぶ学科共通科目群Ⅲ（ヒューマンサイエンス）をおく。 ・初年次より自らテーマを設定し、能動的に学修することによりキャリア形成の基盤とする、キャリア形成科目群をおく。 ・専門科目の基盤となる知識として、福祉、保健・医療、薬学に関係する学問を概括する専門基礎科目群Ⅰ（いのち・福祉を学ぶ）、専門基礎科目群Ⅱ（保健・医療を学ぶ）専門基礎科目群Ⅲ（くすりを学ぶ）をおく。 ・看護学の基本と、健康レベル、生活の場の違いによる看護実践の基礎的能力を講義・演習・実習を通して養うことができるように、専門科目群Ⅰ（基礎看護学分野）、専門科目群Ⅱ（クリニカルケア分野）、専門科目群Ⅲ（母子保健看護学分野）、専門科目群Ⅳ（地域包括ケア分野）、特殊な状況下にある看護並びに看護の在り方や看護職者の役割の理解を深めるための専門科目群Ⅴ（看護の統合と実践）、保健師国家試験受験資格取得のための専門科目群Ⅵ（保健師）、助産師国家試験受験資格取得のための専門科目群Ⅶ（助産師）、養護教諭1種免許取得のための専門科目群Ⅷ（養護教諭）をおく。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>（公表方法：https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670）</p>
<p>(概要)</p> <p>看護学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な価値観を認め合う寛容さを持ち、自己や他者を大切にできる人 2. 他者とコミュニケーションを取り、協働できる人 3. 看護専門知識・技能の習得や関心のあることに主体的に取り組むことができる人 4. グローバルな活動に関心を持っている人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法： https://www.jiu.ac.jp/files/user/about/information/pdf/jiu_organization_chart2022.pdf</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
経営情報学部	—	14人	11人	0人	5人	0人	30人
国際人文学部	—	13人	14人	0人	1人	0人	28人
福祉総合学部	—	15人	9人	0人	11人	1人	36人
薬学部	—	18人	8人	0人	9人	2人	37人
メディア学部	—	10人	11人	0人	7人	0人	28人
観光学部	—	7人	5人	0人	2人	0人	14人
看護学部	—	11人	8人	0人	12人	4人	35人
大学院	—	4人	4人	0人	0人	0人	8人
語学教育センター	—	1人	6人	0人	13人	1人	20人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		236人					238人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=7539					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営情報学部	400人	388人	97%	1640人	1643人	100.2%	20人	8人
国際人文学部	200人	179人	89.5%	820人	818人	99.8%	10人	4人
福祉総合学部	220人	130人	59.1%	890人	625人	70.2%	5人	0人
薬学部	130人	57人	43.8%	780人	528人	67.7%	0人	0人
メディア学部	360人	383人	106.4%	1480人	1551人	104.8%	20人	5人
観光学部	100人	83人	83%	400人	394人	98.5%	0人	9人
看護学部	100人	111人	111%	400人	425人	106.3%	0人	0人
合計	1510人	1331人	88.1%	6410人	5984人	93.4%	55人	26人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学先		就職者数 (自営業を含む。)	その他
		進学者数	進学先		
経営情報学部	272人 (100%)	5人 (1.8%)		211人 (77.6%)	56人 (20.6%)
国際人文学部	158人 (100%)	7人 (4.4%)		104人 (65.8%)	47人 (29.7%)
福祉総合学部	116人 (100%)	0人 (0%)		92人 (79.3%)	24人 (20.7%)
薬学部	139人 (100%)	2人 (1.4%)		56人 (40.3%)	81人 (58.3%)
メディア学部	290人 (100%)	11人 (3.8%)		203人 (70%)	76人 (26.2%)
観光学部	54人 (100%)	3人 (5.6%)		34人 (63%)	17人 (31.5%)
看護学部	102人 (100%)	0人 (0%)		99人 (97.1%)	3人 (2.9%)
環境社会学部	37人 (100%)	1人 (2.7%)		22人 (59.5%)	14人 (37.8%)
合計	1168人 (100%)	29人 (2.5%)		821人 (70.3%)	318人 (27.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)					
成田赤十字病院、東千葉メディカルセンター、総合病院国保旭中央病院、ウエルシア薬局株式会社、アイングループ、日本調剤株式会社、社会福祉法人千葉福祉援護会、社会福祉法人匠瑤市社会福祉協議会、防衛省自衛隊、医療法人社団苑田会苑田第三病院、医療法人社団明芳会イムス佐原リハビリテーション病院、清水建設株式会社、北海道ガス株式会社、警視庁、千葉県警察本部、AOI TYO Holdings 株式会社、株式会社オリエンタルランド、株式会社星野リゾート・マネジメント、株式会社FMG、フェデラルエクспレスコーポレーション、クラブツーリズム株式会社、鴨川市役所					
(備考)					

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 学生便覧に各学部の設置科目を掲載し、カリキュラムツリーを Web 上で公開し、授業科目の順次制・連続性の可視化に努めている。授業の方法についてはシラバスに記載し、また、年間の授業計画が分かるよう行事予定表（学年暦）を作成し公開している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) シラバスに各科目の到達目標を示し、一部の科目ではルーブリック評価を取り入れるなど学修成果の可視化を行っている。卒業認定については、本学学則第 26 条および本学学位規程に定めている。また、各学部でディプロマ・ポリシー（DP）を定め、公開している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経営情報学部	総合経営学科	124 単位	有・無	単位
国際人文学部	国際文化学科	126 単位	有・無	単位
	国際交流学科	126 単位	有・無	単位
福祉総合学部	福祉総合学科	124 単位	有・無	単位
	理学療法学科	124 単位	有・無	単位
薬学部	医療薬学科	190 単位	有・無	単位
メディア学部	メディア情報学科	126 単位	有・無	単位
観光学部	観光学科	124 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	126 単位	有・無	単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.jiu.ac.jp/about/information/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

初年度納付金

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経営情報	総合経営	770,000 円	300,000 円	240,000 円	施設設備費
国際人文	国際文化				
	国際交流				
福祉総合	福祉総合	900,000 円	300,000 円	450,000 円	施設設備・実習費
	理学療法				
薬	医療薬学	1,430,000 円	400,000 円	186,000 円	施設設備費
メディア	メディア情報 (映像芸術)	770,000 円	300,000 円	340,000 円	施設設備費
	メディア情報 (映像芸術以外)			240,000 円	施設設備費
観光	観光				
看護	看護	1,000,000 円	300,000 円	550,000 円	施設設備・実習費

初年度以降納付金

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経営情報	総合経営	770,000 円		300,000 円	施設設備費
国際人文	国際文化				
	国際交流				
福祉総合	福祉総合	900,000 円		650,000 円	施設設備・実習費
	理学療法				
薬	医療薬学	1,430,000 円		666,000 円	施設設備費
メディア	メディア情報 (映像芸術)	770,000 円		400,000 円	施設設備費
	メディア情報 (映像芸術以外)			300,000 円	施設設備費
観光	観光				
看護	看護	1,000,000 円		550,000 円	施設設備・実習費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 大学独自の給付型奨学制度として、入学試験の成績により選考を行う制度、入学後の学業への取り組みにより選考を行う制度、入学後の家計の急変等に対応した制度、地域人材・社会人の学び直しを支援する制度を整備している。貸与型奨学生としては、家計の急変に対応する制度を父母後援会・同窓会の支援を得て整備している。また、地域人材育成のための貸与型制度として看護学部の病院・自治体による制度、介護福祉士貸付制度などの紹介を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

1. キャリア形成・就職センター職員（国家資格キャリアコンサルティング有資格者含む）が、求人情報の提供、学科ごとに担当者が個人別指導、エントリーの仕方・履歴書の書き方・面接の指導を行います。
業種の選択、企業の見方・選び方など各種就職相談にも対応しています。
2. 2年次後半から「就職ガイダンス」を開催し就職活動準備を支援。また留学生を対象とした「留学生ガイダンス」や大学院生を対象としたガイダンスも別途開催。さらに定期的に医療系学科では独自に「就職ガイダンス」を開催している。
3. 「学内合同企業説明会」をキャンパス別に定期的に開催（毎月数社を招き、業界研究や企業研究、個別面談を実施）。オンラインでの開催のため、他キャンパスの学生も参加可）。
4. 毎年1月に「企業研究会」を千葉市内のホテルで対面方式で開催（医療系学科を除く3年生・2年生対象で、毎年100社以上の企業参加。2021年度はコロナ禍でオンラインで開催）。また11月・12月・2月にはオンラインでの企業研究会を開催。
さらに、薬学部、福祉総合学科、理学療法学科の医療系学科では、医療機関や福祉施設等を学科ごとに学内に招き、独自に業界研究会や就職説明会を実施。
5. 全学生を対象に適性診断とWeb模試テストの受検会を実施。その結果は受検会終了後にフォロー講座を開催し自己分析を支援している。また、受検結果は学科ごとに就職委員にも提供している。
6. 就職活動を支援するための各種講座を開催
（就活身だしなみ講座、面接対策講座、労働法セミナー、SPI対策Web講座など）
7. 基礎から業界別までの資格対策講座の開講（TOEIC®、日商簿記3級検定、国内旅行業務取扱管理者、販売士3級、ビジネス著作権検定、公務員教養試験対策講座など）。この他にも、資格の学校との提携による割引講座も案内。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

1. 健康サポート
 - ・全学生に対し、年に1回健康診断を実施。
 - ・新入生全員に、心電図検査も実施している。
 - ・異常所見者には、再検査を指示し、結果をフォローしている。
 - ・健康診断結果・再検査の案内をJIUポータル通じて案内。
 - ・通学中や学内での怪我に対し、応急処置を行い、必要時には病院搬送、付き添いを実施。必要に応じ保険申請の手続きをサポートしている。
 - ・大学近隣の医療機関受診先の相談対応。
 - ・既往疾患（アレルギー疾患含む）や、障害のある学生の面談およびサポートをしている。
2. 感染症対策
 - ・新入生のみならず、全学生対象に年1回の健康診断時に胸部レントゲン検査を実施。
 - ・入学時に母子手帳のコピーを提出してもらい、過去のワクチン接種履歴を把握している。
 - ・外部実習対象者には、入学後の抗体価検査を基に追加ワクチンを指示している。
 - ・外部実習対象者に学内にてB型肝炎ワクチン予防接種を大学負担にて実施している。
 - ・感染症流行時には電子掲示板（JIUポータル）等で注意喚起を促している。

【新型コロナウイルス感染防止対策】

 - ・学生へ日々の健康チェックの実施案内。
 - ・手指消毒を各教室・施設・門へ設置、入構者へ消毒案内。
 - ・陽性者が発生した場合、新型コロナウイルス感染対策本部、保健所と連携を取り、感染状況を取り纏め、自宅療養期間が開けるまでフォロー体制をとっている。
3. 心のケア
 - ・入学時に「健康カード」によりメンタル面での健康チェックを実施している。

- ・各キャンパスの学生相談室にて、カウンセラーによる学生相談が受けられる体制がある。
- ・精神科医と連携し、面談をできる機会を設けている。
- ・対面でのカウンセリングに加え、大学に来られない学生のために、メールやオンラインでのカウンセリングも可能としている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.jiu.ac.jp/books/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F112310102404
学校名	城西国際大学
設置者名	学校法人 城西大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		419人	417人	445人
内 訳	第Ⅰ区分	236人	243人	
	第Ⅱ区分	115人	119人	
	第Ⅲ区分	68人	55人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				455人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-	-	-
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	-	-	-
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	-	-	-
「警告」の区分に連続して該当	33人	-	-
計	35人	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	-	前半期	-	後半期	-

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	-
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	-
訓告	-
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	-		
G P A等が下位4分の1	68人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	44人		
計	79人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。